

福島県における復興祈念公園基本構想  
新旧対照表

平成 29 年 7 月

国土交通省東北地方整備局

福島県

—	はじめに 原文
---	---------

2012年（平成24年）より、宮城県では石巻市南浜地区、岩手県では陸前高田市高田松原地区において検討が開始され、2014年（平成26年）3月に「石巻市南浜地区復興祈念公園（仮称）基本構想」、2014年（平成26年）6月に「高田松原津波復興祈念公園基本構想」が策定されるとともに、2014年（平成26年）10月に「国営追悼・祈念施設（仮称）」の設置に関する閣議決定が行われた。

—	はじめに 修正文
---	----------

2012年（平成24年）より、宮城県では石巻市<sup>みなみはま</sup>南浜地区、岩手県では陸前高田市<sup>たかたまつばら</sup>高田松原地区において検討が開始され、2014年（平成26年）3月に「石巻市南浜地区復興祈念公園（仮称）基本構想」、2014年（平成26年）6月に「高田松原津波復興祈念公園基本構想」が策定されるとともに、2014年（平成26年）10月に「国営追悼・祈念施設（仮称）」の設置に関する閣議決定が行われた。

P 1～2 （該当箇所は P 2）	1. 東日本大震災の概要（2）福島県 原文
-------------------------	-----------------------

福島県では、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町等で震度6強、福島市、郡山市、二本松市、本宮市等で震度6弱の強い揺れを観測し、その後来襲した津波により、沿岸部の3市7町（いわき市、相馬市、南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、新地町）すべてにおいて、主に丘陵と丘陵に挟まれた低地部が浸水被害を受け、浸水面積は約110km<sup>2</sup>に及んだ<sup>1)</sup>。津波等直接的な被害による死者・行方不明者は1,831人である<sup>2)</sup>。福島県沿岸北部から中部にかけて、浸水面積が大きく、津波等直接的な被害による死者数が多い。また、白河市等内陸部では地すべり、がけ崩れ、堰堤の決壊等が発生した。

P 1～2 （該当箇所は P 2）	1. 東日本大震災の概要（2）福島県 修正文
-------------------------	------------------------

福島県では、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町等で震度6強、福島市、郡山市、二本松市、本宮市等で震度6弱の強い揺れを観測し、その後来襲した津波により、沿岸部の3市7町（いわき市、相馬市、南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、新地町）すべてにおいて、主に丘陵と丘陵に挟まれた低地部が浸水被害を受け、浸水面積は約110km<sup>2</sup>に及んだ<sup>1)</sup>。**福島県の津波、地すべり**等直接的な被害による死者・行方不明者は1,831人である<sup>2)</sup>。福島県沿岸北部から中部にかけて、浸水面積が大きく、津波等直接的な被害による死者数が多い。また、白河市等内陸部では地すべり、がけ崩れ、堰堤の決壊等が発生した。

P 3 1. 東日本大震災の概要（3）双葉町、浪江町 原文

福島県双葉郡双葉町、浪江町において、津波による最大浸水深は、双葉町で16.5m<sup>1)</sup>、浪江町で10m<sup>2)</sup>に達し、浸水区域内の双葉町中野地区、郡山地区、浪江町請戸地区、中浜地区、両竹地区のほぼすべての建物が津波により全壊となった。

P 3 1. 東日本大震災の概要（3）双葉町、浪江町 修正文

福島県双葉郡双葉町、浪江町において、津波による最大浸水深は、双葉町で16.5m<sup>1)</sup>、浪江町で10m<sup>2)</sup>に達し、浸水区域内の双葉町<sup>なかの</sup>中野地区、<sup>こおりやま</sup>郡山地区、浪江町<sup>うけど</sup>請戸地区、<sup>なかはま</sup>中浜地区、<sup>もろたけ</sup>両竹地区のほぼすべての建物が津波により全壊となった。

P 4 1. 東日本大震災の概要（3）双葉町、浪江町 原文

役場機能について、双葉町は、2011年（平成23年）3月12日から同年3月18日まで川俣町、同年3月19日から同年3月29日までさいたまスーパーアリーナ（埼玉県さいたま市）、同年3月30日から2013年（平成25年）6月16日まで旧埼玉県立騎西高校（埼玉県加須市）、同年6月17日から双葉町いわき事務所に置いている。浪江町は、2011年（平成23年）3月12日から15日まで浪江町役場津島支所、同年3月15日から5月22日まで二本松市役所東和支所、同年5月23日から2012年（平成24年）9月30日まで福島県男女共生センター（二本松市）、同年10月1日から現在まで浪江町二本松事務所に置いている。なお、浪江町は、2013年（平成25年）4月1日に一部機能を浪江町の本庁舎に戻している。

P 4 1. 東日本大震災の概要（3）双葉町、浪江町 修正文

役場機能について、双葉町は、2011年（平成23年）3月12日から同年3月18日まで川俣町、同年3月19日から同年3月29日までさいたまスーパーアリーナ（埼玉県さいたま市）、同年3月30日から2013年（平成25年）6月16日まで旧埼玉県立騎西高校（埼玉県加須市）、同年6月17日から双葉町いわき事務所に置いている。浪江町は、2011年（平成23年）3月12日から15日まで浪江町役場津島支所、同年3月15日から5月22日まで二本松市役所東和支所、同年5月23日から2012年（平成24年）9月30日まで福島県男女共生センター（二本松市）、同年10月1日から現在まで浪江町二本松事務所に置いている。なお、浪江町は、2013年（平成25年）4月1日に一部機能、**2017年（平成29年）4月1日に、大部分の機能**を、浪江町の本庁舎に戻している。

P 5	1. 東日本大震災の概要（3）双葉町、浪江町 原文
-----	---------------------------

このような大きな被害が生じる一方で、浪江町の被災者の約6割を占める請戸地区では請戸小学校に当時在籍していた児童、職員全員が大平山へ、両竹地区では住民が高台に位置する諏訪神社境内地へ、双葉町では住民が双葉海水浴場に面したマリンハウスふたば最上階にそれぞれ避難し難を逃れることができた。

P 5	1. 東日本大震災の概要（3）双葉町、浪江町 修正文
-----	----------------------------

このような大きな被害が生じる一方で、浪江町の被災者の約6割を占める請戸地区では請戸小学校に当時在籍していた児童、職員全員が大平山へ、両竹地区では住民が高台に位置する<sup>すわ</sup>諏訪神社境内地へ、双葉町では住民が双葉海水浴場に面したマリンハウスふたば最上階にそれぞれ避難し難を逃れることができた。

P 7	基本理念 原文
-----	---------

福島県沿岸部は、先史時代から人々が生活を営んできた地であるとともに貞観地震や天保の飢饉等様々な困難に度々見舞われ、それを乗り越えて来た歴史を有する。当時より人々の心の支えとして、神楽や踊り等民俗芸能が受け継がれており、震災後避難先において請戸の田<sup>おんなほうさいおどり</sup>植踊、双葉町前沢の女宝財踊等の民俗芸能が復活している。

P 7	基本理念 修正文
-----	----------

福島県沿岸部は、先史時代から人々が生活を営んできた地であるとともに<sup>じょうがん</sup>貞観地震や天保の飢饉等様々な困難に度々見舞われ、それを乗り越えて来た歴史を有する。当時より人々の心の支えとして、神楽や踊り等民俗芸能が受け継がれており、震災後避難先において<sup>うけど</sup>請戸の<sup>たうえおどり</sup>田植踊、<sup>まえざわ</sup>双葉町<sup>おんなほうさいおどり</sup>前沢の女宝財踊等の民俗芸能が復活している。

P 12	3. 基本方針（3）縁（よすが）をつなぐ 原文
------	-------------------------

中野地区、両竹地区等やその周辺地域には、鎌倉時代より江戸時代まで一貫して福島県沿岸部を治めていた相馬氏の古城である両竹館跡が位置するとともに、古くから続いた福島県沿岸部の農業、漁業集落の風景があった。

P 12	3. 基本方針（3）縁（よすが）をつなぐ 修正文
------	--------------------------

中野地区、両竹地区等やその周辺地域には、鎌倉時代より江戸時代まで一貫して福島県沿岸部を治めていた相馬氏の古城である<sup>もろたけたあと</sup>両竹館跡が位置するとともに、古くから続いた福島県沿岸部の農業、漁業集落の風景があった。

P 1 7	4. 公園検討区域と周辺地域を含む空間構成の考え方 (1) 双葉町・浪江町沿岸部の特性 原文
-------	---

双葉町・浪江町沿岸部には、中心的な集落である請戸地区が請戸川河口部に立地するなど、先史時代から連綿と集落が存続している。同地区内の苕野神社では、請戸の田植踊や樽神輿の浜下りが祭りで披露されていた。

P 1 7	4. 公園検討区域と周辺地域を含む空間構成の考え方 (1) 双葉町・浪江町沿岸部の特性 原文
-------	---

双葉町・浪江町沿岸部には、中心的な集落である請戸地区が請戸川河口部に立地するなど、先史時代から連綿と集落が存続している。同地区内の<sup>くさの</sup>苕野神社では、請戸の田植踊や<sup>たるみこし</sup>樽神輿<sup>はまお</sup>の浜下りが祭りで披露されていた。